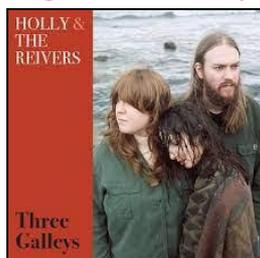


## Mail Order List 2024-#1

www.tambourine-japan.com  
email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)



(List 2024-#1 紙版使用表紙ジャケット)  
HOLLY & THE REIVERS/Three Galleys (England)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。

A ¥ 1 9 8 0 (税込み¥2178) B ¥ 2 1 8 0 (税込み¥2398)

C ¥ 2 3 5 0 (税込み¥2585) D ¥ 2 5 8 0 (税込み¥2838)

X ¥ 4 8 0 (税込み¥528) Y ¥ 9 8 0 (税込み¥1078) Z ¥ 1 4 8 0 (税込み¥1628)

※発売年が10年以上前の商品は検品してお届けします。

### (送料)

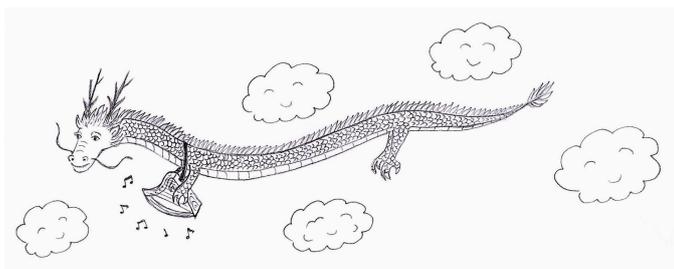
※ご注文枚数に関係なく《一律185円》郵送  
ただしLPを含む場合は一律500円。

※代金引換送料(郵送): 590円何枚でも  
LPを含む場合は+250円。

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

【ご注文はできるだけ2/6までをお願いします】

- お問合せはメールにてお願いします。
- ご注文の際、プライス又はプライス・コードをお書き願います。



(本年も宜しくをお願いします)

\*新年最初の通販リストをお届けします。新年如何お過ごしですか? 年明け早々から大地震に飛行機事故といやなニュース。能登半島地震被災地にお住まいの皆さん大丈夫でしたか? 地震は恐ろしい。

\*年の暮れからポツポツと新譜情報を集めて「これは!」と判断した新譜を10枚程度{これくらいの枚数がほどよい}今回も仕入れました。丁度2023年のベスト・アルバムが発表される時期で、イングランドのNick Hart & Tom MooreとイタリアのHiram Salsanoは元fRoots誌の編集長のIan A. Andersonが運営するポッドキャスト“Podwireless”のベスト・アルバムで選ばれていたアルバムで、視聴して仕入れを決定。この二枚は別の音楽サイトのベスト・

アルバムでも選ばれていました。

\*英国の場合、僕の知る限りでは現在フォーク関係のサイトが4つあります。新譜(デジタル、CD、LP)の数は増える一方です。ですが、多くは若い世代のミュージシャンで余程の出来ではない限りパスするようにしています。

\*今回も昔の音盤の掘り起こしを楽しみながらリスト作りをしました。昔の音楽の良さ再発見の連続です。

#### (分割払い)

\*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は3月31日まででOKです。

Re-issue, USA, British Folk, England, Scotland, Ireland,  
Europe 他, その他色々(CD, LP), あとがき

(ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です)

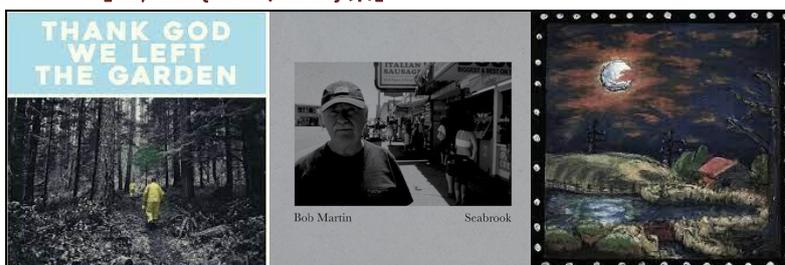
#### [リイシュー/Historic Recording]

(CD/B R I T A I N & I R E L A N D 他)

\*TREVOR BEALES:Fireside Stories A  
(副題“Hedden Bridge Circa 1971-1974”。Bert Jansch や Davy Graham や Nick Drake と同時代、1970年代前半頃のブリティッシュ・フォークど真ん中の音楽。本作は最近屋根裏部屋で見つかった宅録テープをデジタル処理を施して CD 発売した死後のデビュー・アルバム。70年代英国フォーク・ギターの香りをプンプン放つギターの弾き語りの唄は夢があって優しい。70年代ブリティッシュ・フォーク・ファン必聴。2022作。Basin Rock)

\*ALISHA SUFIT:Alisha Through The Looking-glass Z  
(英国の伝説的サイケ・フォーク・バンドの Magic Carpet のシンガーだった Alisha Sufit の 1993 年作。Magic Carpet の Keshav Sathe に加えて Bernard O' Neill や Ray Warleigh 等のジャズ系ミュージシャン等をバックに迎え、アコースティック・ギターやアパラチアン・ダルシマーの弾き語りを要にした本作は、ノスタルジック風味の軽やかでゆるーい SSW/フォーク・アルバム。心軽やか。SUFIT010CD)

#### [CD/USA {Folk, Rock} 系]



(Jeffrey Martin)

(Bob Martin)

(Brown Horse)

\*JEFFREY MARTIN:Thank God We Left The Garden C  
(裏庭に建てた小さな小屋で録音したというポートランドの SSW の Jeffrey Martin の新作で四枚目。元々好きな SSW だが、本作は

意気込みが違う。唄は内面志向でギターの弾き語りです。ひたすら魂を振り絞るよううたう。John Prine が小屋に引きこもり、魂をこめて一心に弾き語った感じだろうか。目まぐるしく変化する世界中で、Jeffrey はあえて人として誰もが記憶に留めることができる事柄についてうたう。彼は「時と場所の幸運のお陰で、私の声とギターの弾き方そして各新曲の形が私が切望していた誠実さと一体化することができた」と回想する。身震いするほどの素晴らしい SSW アルバムだ。2023 作。Loose Music)

\*BOB MARTIN:Seabrook

A

(2022 年 9 月 21 日に 80 歳で亡くなった Bob Martin のラスト・アルバム。ニューハンプシャー州シーブルックは彼が子どもの頃に休暇でしばしば訪れた場所。2008 年にその地のマンションで収録したレコーディングが本作。1972 年の彼のデビュー・アルバム“Midwest Farm Disaster”は周知の名盤だが、36 年後に収録された本作でもデビュー作時のディラン・スタイルの気骨あるヴォーカルは健在。しゃがれ声も健在。違うのは洪さとリラクセス感。Bob は海辺のマンションの部屋でギターを爪弾き、時々ハーモニカを吹き、一語一語丁寧にうたっていて、唄への感情移入に自然な抑揚感があって味わい深い。いぶし銀の味わいなのだが、唄の根っこは力強い。ファーストの“Midwest Farm Disaster”ありてラストの“Seabrook”あり。Bob Martin 唄のは齢を重ねた Bob Martin 節。クレジットにはエレキギターやペダルスティールやオルガンなどの演奏者数名が記されているが、トータルにはギターの弾き語りの印象が強い。全 11 曲。2008 年/2023 作。

Worried Songs)

\*BROWN HORSE:Reservoir

C

(英国のノリッジを拠点に活動する二姫四太郎の六人組カントリー・ロック・バンド“Brown Horse”のデビュー作。今の時代に何とかっこいいフォーク・ロックというかカントリー・ロック・バンド! Patrick Turner のヴォーカルはビブラートがかかって Roger McGuinn 風に不思議な魅力があるし、エレキギター、ペダルスティール、バンジョー、アコ、ピアノ、ドラムス等によるロックは、Crazy Horse タイプの 70 年代のやや荒削りなアメリカン・ロック・バンドやその後のオルタナティブ・カントリー的な土臭さ・泥臭さを放っている。各楽器のサウンドがよく響き合って心地よいし、何より Patrick のヴォーカルと一体化したエネルギッシュなロックは元気回復に効く。ラストはバンジョーをフィーチャーしたアコースティックな“Called Away”を Patrick がしつとりとうたって幕。Patrick はこの手のバンドのシンガーとして抜群。2024 作。Loose Music)

\*ERIC ANDERSEN:Foolish Like The Flowers

C

(2019 年 11 月 9 日イタリアで行われた Eric Andersen のライヴ。メンバーは Eric と奥方の Inge Anderson {ハモニー・ヴォーカル} に Scarlet Rivera {ヴァイオリン}、Paolo Ercoli {トブ口}、Cheryl Prashker {ハーカッション} の三姫一太郎の四名。初期の曲を中心にした曲目で、齢を重ねた Eric の滋味豊かなヴォーカルとそのヴォーカルにナチュラルにとけ込んだ伴奏 & ヴォーカル・ハーモニーで、“Blue and Deep River”な Eric Andersen の唄の世界を創り出している。2023 作。Appaloosa)

\*ERIC DEVRES:Song & Dance Man

A

(Eric Devres は現在 Matthews Southern Comfort のメンバーで「オランダのクリス・ヒルマン」と呼ばれているオランダ人 SSW。本場米国でも中々聴くことが出来なくなった良質の SSW アルバム。Murray McLachlan 風フォーク調と軽やかなカントリー・ロック調が混在していて、どの曲も自然体なのが快い。2021 作。MIG)

\*WILLY DeVILLE:Big Easy Fantasy D

(ロックバンド“Mink DeVille”のフロントマンだった Willy DeVille の 1995 年作。“big easy”はニューオーリンズのこと。Mink DeVille Band に加えて Allen Toussaint, Dr. John, Freebo, Chris Spedding 等をゲストに迎えて制作された本作は{ライブ録音を含む}はニューオーリンズ色濃厚なまさに「ニューオーリンズ・ファンタジー」なアルバム。Willy DeVille は本作発表前七年前にニューオーリンズに移り住んでいて、ニューオーリンズ音楽に陶酔しきった音楽を熱く体現していて圧巻。Wotre Music)

\*DAVID MASSENGILL:The Return A

(Jack Hardy と The Folk Brothers の名でデュオで活動し、アルバムも発表しているシンガーソングライターでアパラチアン・ダルシマー奏者の David Massengill の 1995 年作。児童書の作家でイラストレーターでもあるということは後に知ったが{ブックレットの裏表紙には動物達の愉快的な絵が描かれている}、ダルシマーを奏でてうたう彼の唄は、フォークソングの原点というか、素朴な唄に心遊ぶ物語が詰まっている印象で、じわじわと彼の唄の世界へと誘われる。ストーリーテラーの中のストーリーテラー。ゲスト:Suzanne Vega, Jane Siberry, Maggie & Terre Roche, Larry Cambell, Hugh McCracken, Haward Jones。True North/Plump)

\*MIKE WILLIAMS:Walking Up Next To You A

(テキサスの SSW の Mike Williams 1992 年のカセット・アルバムを明るめにアレンジし直して CD [CD-R] で発売したもの。自身の 12 弦ギターの弾き語りを中心にした本作は、70 年代の田舎志向の SSW のように終始優しく穏やか。Bill Staines を聴くような…のほほーんと良い気分。ブックレットは表紙のみ {手作り内側からセロテープで貼り付け} という手抜き}だが、音楽は最高に最良の SSW アルバム。音質確認済。稀少盤。Mike Williams)

\*JEFF WILKINSON:Landscapes A

(ニューヨークを拠点に活動する SSW の Jaff Wilkinson の 2005 年作の四枚目。彼のバンド“Shutterdogs”を従えて制作された本作はブルース、カントリー、フォーク、ジャズなどの音楽性がほどよくミックスしたカントリー・ロック・タイプの SSW アルバム。Jeff Wilkinson のヴォーカルは Jerry Garcia 風で、音楽性も Grateful Dead タイプと言えようが、デッドのような遊びがなく熟練技で正攻法。カントリー・ロック系 SSW アルバムとして秀逸。Brambus)

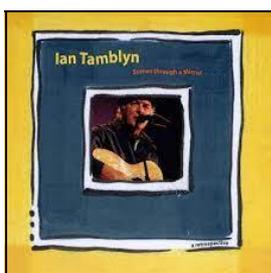
\*BARB DONOVAN:Angelina A

(デトロイト出身でテキサス・オースティンを拠点に活動していた女性 SSW の Barb Donovan の 1996 年作。鮮やかアコースティック・ギターの弾き語りを中心にした彼女の清々しい唄は、往年のオースティンの著名 SSW とは対照的。むしろ彼女がテキサスに越す前に音楽活動していた西海岸的。クレジットにはないが、Townes Van Zandt の名曲“I'll Be Here In The Morning”では

Townes とデュエット。「彼女の唄はどれも本物で心からのもの。  
美しく強い魂がある」とは Townes Van Zandt.(Gregor)

- \*THE TEXAS KELLYS:Stay All Night Z  
(アイルランドの老舗レーベル“Mulligan”から発売された6人組  
ルーツロック・バンドの Texas Kellys {Waterboys の Steve  
Wickham もメンバー}の1991年作。野趣なヴォーカルもルーツ色  
濃いごった煮サウンドは二流センスもあって、職人芸級。何も知  
らずに聴いたら、百戦錬磨の米国のヴェテラン・ルーツロック・  
バンドと思うだろう。検索したら米国アマゾンで104ドルで売っ  
ていた。Mulligan)

[CD/CANADA]



(Ian Tambllyn)

- \*IAN TAMBLYN:Scenes Through A Mirror ¥3390(税込み¥3729)  
(Ian Tambllyn の新作は CD 二枚組。1976 年作の“Ian Tambllyn”から  
2020 年作の“A Longing For Innocence”の彼の録音音源から音  
楽人生を振り返って丁寧に選んだ 26 曲。昨年末、本作が彼から  
一枚届いたときには「コンピレーションか」と無視。でもお礼は  
書かなくっちゃと、聴き流しで聴いていたら、まるで新たに制  
作された新作を味わう新鮮さでじわじわとハマって行ってし  
まった。それはおそらく彼の唄はどの時代でも彼の真正直な気  
持ちが写し出されていて「常に新鮮」だからではないだろうか。  
加えて音質と音楽的な統一感それにスムーズな曲順もあるだろ  
う。そんなことを彼にメールで伝えたら「好きになってくれてあ  
りがとう。自分でも面白い経験だった。曲選び、リマスタリング、  
曲順を考えたり、新たなストーリーが生み出されたと思う」と。  
彼のオリジナル・アルバム未収録曲が一曲含まれている。その曲  
は“25th Hour Of The Day”という曲で、国内盤“When Will I  
See You Again”{解説:船津}にボーナス曲で収録。音源は“CBC  
Variety Recordings 8, The Coast To Coast Sessions”{1991  
作}。三つ折りジャケットでブックレットには曲目解説 と録音  
データ等。本作を聴いてからちよくちよく昔よく聴いた“Paris  
Afternoon”が頭の中を流れて止まなかった。2023 作。North Track)
- \*IAN TAMBLYN:Side By Each A  
(Ian Tambllyn の 2013 年作。海などでの感動的な出来事や風景そし  
て内なる旅の詩的描写の見事さは本作においてもなお絶品。心  
は Ian Tambllyn の唄の世界へ飛ぶ。w. Rebecca Campbell {ハモニー・ヴ  
ォーカル}, Pat Maher {ハモニー・ヴォーカル}, Fred Guignon {エレキギター、ラップ  
スタイル、トブ口}。North Track)
- \*KATE & ANNA MCGARRIGLE:Tant Le Monde C  
(副題“Live In Bremen / Germany 2005”。Kate が肉腫で亡くなる  
五年前の Kate & Anna 姉妹のライヴ。2003 年作の“La Vache Qui

Pleure”からの5曲に Kate の元夫のラウドン・ウェインライト三世作の“The Swimming Song”やリンダ・ロンシュタット他多くのアーティストによってカバーされた“Heart Like A Wheel”ほか全 16 曲。2005 録音/2022 作。MIG Music)

\*GREG KEELOR:Gone

A

(カナダのカントリー・ロック・バンド“Blue Rodeo”のメンバーで SSW の Greg Keelor の 1997 年作。薄暗い居心地のよい場所で、ゆったりとつぶやくようにうたう彼の唄は、カナダ人的感性というか独自の感性に満ちていて、夢想的で何とも快い。異色の名盤。10 曲中曲で Sarah McLachlan が共演。Warner Music Canada)

\*RAY MONTFORD:Shed Your Skin

Y

(カナダのアコースティック & エレキギター奏者 Ray Montford の 1997 年作。バンド編成のギター・アルバムで音楽はジャンルを超えて多層で多様。ゲスト:Cockie Rankin[Rankin Family], Oliver Shroer。「素晴らしいレコードだ。信じられないほどの演奏。唯一無二の歌声。そして私が人生で聴いた中で最高のギター・アルバムの一枚」[Will Ackerman, Windham Hill Records]。Softail)

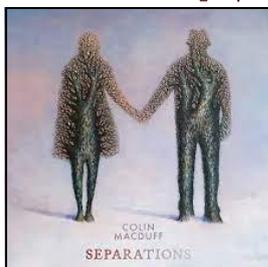
### [LP/UK]

\*CHRIS BRAIN:Bound To Rise (夜明け) ¥3818(税込み¥4200 円)

(2022 作。Big Sun Records)

タムボリン・オリジナル! クリス・ブレイン特製の 15 羽の鳥のポスター (A3 サイズ) と英語歌詞・対訳 (船津潔) 付。

### [CD/UK]



(Colin Macduff)

\*COLIN MACDUFF:Seperations

C

(看護師退職後に高齢 SSW としてデビューした Colin Macduff の新作で二枚目。本作のテーマは死別などの「別れ」。重いテーマだが、Colin の唄は、前作と同様に自身が爪弾く響きの良いギターの弾き語りを中心にひたすら穏やかで優しい。ただし前作は「夢を見るような」だったが、本作は別れの「悲しさや苦しさや恐怖」を乗り越えて到達したかのような平和な境地の心穏やかで深い優しさ。12 曲中 3 曲は Maria Quinn のピアノ伴奏による弾き語りで、心なしか優しさが深く感じられる。彼の人生経験から生まれたとてつもなく優しい唄の魅力は計り知れない。何度聴いても飽きることがない。音楽は人生経験そして心。w. Maria Quinn, Angus Lyon, Jenna Reid. 2024 作。Gran's House Studio)

\*COLIN MACDUFF:The Past And The Sky

C

(スコットランドの SSW の Colin Macduff の 2022 年のデビュー・アルバム。「デビュー・アルバムは遅すぎない」と自身が言う本作は、不思議な夜景のブックレットも自作の全 12 曲も夢色に染まっ

Jenna Reid 他。Colin Macduff)

\*CHRIS BRAIN:Steady Away D

(ゾクゾクするような Chris Brain の通算二枚目の新作。冴え渡るギターと Nick Drake を想起させるヴォーカルとサウンド。Chris Brain の唄は自然の風景や鳥などを題材にした唄が多く、Nick Drake の陰鬱な資質とは異質だが、「内省的」な志向性で不思議に重なる。Chris Brain は Nick Drake の独創性のある音楽を完璧に消化し、自分の唄の栄養分にしている。驚くのはギターのスタイルが多彩化していること。そのため英国フォーク的に音楽性の膨らみを生んでいて、音楽が豊かになった。英国の某フォーク系 WEB 情報サイトのアルバム評での「サンディー・デニーに相当する男性の唄」との指摘。そう言われれば、確かにそうと思える曲が何曲か…。2023 作。Big Sun) ※CD 購入者には LP に付いた歌詞をコピーして CD にお付けします。

\*PAT SHAW AND JULIE MATTHEWS:Lies And Alibis Z

(元 Albion Band のシンガーで SSW の Julie Matthews [ヴォーカル、ギター、ピアノ] とギター奏者の Pat Shaw [ヴォーカル、アコースティックギター] の女性デュオによる 1996 年作。Clive Gregson プロデュースによる本作は適度に Albion Band 風にフォーク・ロックしていて Julie のヴォーカルも二人のデュエットも伸びやかで快調。w. Clive Gregson, Andy Seward, Martin Hughes, Andy Whelan, Roy Whyke. Fat Cat)

\*MARTIN JOSEPH:Full Colour Black And White Y

(「今日のイギリスで最もカリスマ的で感動的な SSW の一人。タフで情熱的な人物」とトム・ロビンソンが評した英国の SSW でギター奏者の Martyn Joseph の 1996 年作。初心に帰ると自身の屋根裏部屋のスタジオで制作された本作は、内に秘めたパワーがシンプルに充実した名作。Grapvine)

### [CD/FAIRPORT & FRIENDS]

\*CARLA FUCHS:Songbird A

(ドイツ人の SSW でマルチ演奏家の Carla Fuch がサンディー・デニーのカバー曲を YouTube で公開したのがきっかけでサンディーの娘のジョージアとオンラインでの交流が始まったという。ジョージアは母サンディーの詩に命を吹き込むべく Carla Fuch にアルバムの制作を提案。本作はプロジェクト“Songs Of Sandy Denny”の旗のもと、Carla Fuch がサンディーが残した未完成の曲をオリジナルに完成させたもの。Carla Fuch のヴォーカルは誠実で真に優しい。伴奏もピアノやギターの弾き語りをベースにしたシンプルな音作りで、Carla Fuch の唄の世界を優しく包む。どの唄にも新たに優しい命が宿っていて、心ならず。歌は心。2023 作。Talking Elephant)

※本 CD ご注文の皆さまに特製バッジを差し上げます。

\*FAIRPORT CONVENTION:Shuffle And Go 1200 円(税込み 1320 円)

(フェアポートの 2020 年作。フェアポートのオフィスのミスで入荷。格安販売。Matty Grooves。

\*ASHLEY HUTCHINGS BIG BEAT COMBO

:Twangin' 'n' A-traddin' Revisited Y

(1994 年作の Big Beat Combo = Ashley Hutchings, Richard Thompson, Simon Nicol, Maartin Allcock, Simon Gare, Phil Beer 他 = の青春時代のポップ・ロック・アルバム“Twangin' 'n' ”)

A-traddin' ”に三曲を加えた”Revisited”版。全 15 トラック。  
1994 年/2015 作。Talking Elephant)

[CD/ENGLAND]



(Holly & The Reivers) (Nick Hart & Tom Moore)

- \*HOLLY & THE REIVERS:Three Galleys C  
(James Fagan が「Holly はフォーク界の新星だ」と一押しする女性  
トラッド・シンガーの Holly Clarke [ヴォーカル、ギター] と James の妻  
の Nancy Kerr が「素晴らしい音楽の語り手。徹頭徹尾 A クラス」  
と絶賛するニューカッスルの男女のデュオ”The Reivers”～  
Berttie Armstrong [ヴォーカル、バズ・ヨー、ラップ・スタイル] & Marle  
Harbron [ヴォーカル、フィドル、ハンマダールマー] ～が組んだトリオ。Holly は  
Nancy Kerr タイプの滅茶苦茶素晴らしいトラッド・シンガー。  
Reivers の二人は米国オールドタイム系のトラッド&バラッド・  
シンガーで演奏家。Holly のシンギングを中心にトリオとして  
絶妙な一体感があって、英米トラッド音楽としての鮮度と熟成  
度の高さは並外れている。三人のシンギング&ハーモニーと演  
奏が英国人的センスで絶妙に調和し溶け合って、新たな英米ト  
ラッドの魅力を生み出している。ラストはトラッドの名曲  
”Willie O’ Winsbury”で感涙の幕。2023 作。Holly & The Reivers)
- \*NICK HART & TOM MOORE:The Colour Of Amber D  
(近年三枚のソロ・アルバムを発表しているトラッド・シンガーの  
Nick Hart が Nick Hart の各ソロ・アルバムでエンジニアリング  
やミキシングを担当していた Tom Moore がヴィオラとハーモニ  
ウムの演奏で共演。Nick Hart もヴィオラ・ダ・ガンバとハーモニ  
ウムの演奏。これらの楽器の採用は大正解。Nick はフォーク・リ  
バイバル以降に日の目を見たイングランドの豊富なトラッド曲  
からお気に入りの曲を英国トラッド調で朗々とシンギングする  
のだが、音楽は中世・ルネサンス音楽調。この古風で上品なトラ  
ッドサウンドが Nick の円やかなシンギングとマッチしていて、  
トラッド・ファンの耳を引く魅力にもなっている。Nick の家族は  
モリスダンサーでバンドも結成という。これらの楽器によるモ  
リス曲もまた優雅。「このデュオによる最初のアルバムはここ数  
年の他の英国の伝統的なアルバムよりもはるかに優れている」  
{folkradio}。2023 作。Slow Worm)
- \*GERRY HALLOM:On The Periphery B  
(1980～1990 年代に活躍したブリティッシュ・フォーク・シンガ  
ーの Gerry Hallom の 1997 年作。12 曲中 8 曲が自作曲。70 年代英国  
トラッド・スタイルに影響を受けたシンギングと音楽は、伴奏者  
として参加の Andy Irvine の音楽性と通じる。今は中々お耳にか  
かれなくなった良質の英国フォーク。w. Andy Irvine, Pete  
Cooper, Nic Jones, Lal Waterson, John Bowden 他。William Boyd  
Music)

- \*LITTLE JOHNNY ENGLAND:MerCs & Cherokees B  
(PJ Wright, Gareth Turner, Guy Fletcher, Mat Davies, Mat Davies, Edd Frost から成る英国フォーク・ロック・バンドの Little Johnny England の 2001 年作。英国フォーク・ロックの王道を体現した彼らのフォーク・ロックは今聴いても圧巻。Albion Band, Fairport ファン必聴。Fellside)
- \*PETE CASTLE:False Waters A  
(フォーク蒐集家&研究家でトラッド・シンガーの Pete Castle の 1995 年作。イングランドを中心にアイルランドや英国のトラッド/バラッドをギター等の弾き語りを中心に家族他と演唱した本作は「これぞイングランドのトラッド！」の輝きを放っていて感涙。この気品と気高さと円やかさは貴重。13 曲目“Adieu to Old England”は Shirley Collins のヴァージョンではなく Harry Cox のヴァージョン。全 14 曲。Steel Carpet)
- \*GORDON TYRRALL:So I've Heard Z  
(Gordon Tyrrall のシンギングといい、ギターの響きといい、いつ聴いても気分爽快な英国トラッド。トラッドを学ぶ中で彼なりの英国トラッドのスタイルを創り上げていて、彼のシンガーとしての魅力がトラッド・スタイルで清々しく開花。曲によっては結構 Andy Irvine っぽい。本作は Phoebe Smith, Joseph Taylor, Mary Ann Carolan, Pop Maynard などの先輩シンガー達に捧げられている。ジャケットには四人のイラスト。昔は良いシンガーがたくさんいましたね。全 17 曲。2000 作。Gaho)
- \*PETE MORTON:The Land Of Time Z  
(英国のフォーク・シンガー/SSW の Pete Moton の 2015 年作。ウッディ・ガスリーやボブ・ディランのトーキング・ブルースにインスピレーションを得て創作したという彼のオリジナルな英国フォーク。トーキング・ブルース調だが、英国フォークの香り高く、一曲一曲が生き物のように生き生きしていて心に刺さる。「ピート・モートンは私たちが SSW に求めているものすべてです。猛烈に創造的で誇り孤高で熟練し才能があり、最終的には予測不可能です」とは Mojo 誌。Produced by Paul Adams & Pete Morton。Fellside)
- \*TOM LEWIS:Surfacing Z  
(航海の唄や海の唄をうたうフォーク・シンガーの Tom Lewis がカナダで暮らしていた時代に発表した 1987 年作。“Sally Free And Easy”の作者で「海唄」のフォーク・シンガーとして有名な Cyril Tawney の“Diesel And Shale”以外は Tom Lewis の自作曲。シーシャンティ・スタイルを受け継ぐ Tom Lewis のシンギングは素晴らしく、一気に船乗りの世界へと誘う。Produced by William Pint & Felicia Dale。全 13 曲。Self Propelled Music)
- \*CYRIL TAWNEY:Man Of Honour Z  
(副題“The Non-Maritime Songs by Cyril Tawney”。1962 年から 1995 年までのレパートリー {伝承歌や自作曲} 14 曲をギターの弾き語りでも再演した 1997 年作。「海唄」で鍛えたシンギングは素晴らしく、うたい慣れた曲と円熟味と混ざり合って、英国フォークとして深みがある。Stan Rogers や Gordon Bok のような熟練シンガー味わい。ゲスト:Chris & Joe While。オリジナルはカセットで、2013 年に CD 化された本作は前年に世界した Cyryl 夫人の霊に捧げられている。Talking Elephant)

- \*SHAVE THE MONKEY:Mad Arthur Y  
(紅一点の女性シンガー Carolyn Sheppard がリード・ヴォーカルの英国の6人組フォーク・ロック・バンド“Shave The Monkey”の1996年作の三枚目。ハーディガーディや各種バグパイプやフルートをフィーチャーしたフォーク・ロックは中世音楽風味を放つ。曲によってはケルティックな響きにも。Woodworm スタジオ録音。Percharon Musique/※ブックレットのP1とP2、P5とP6の中綴じ付近上部が紙質のせいで貼り付いています。ブックレットはおおよそ開けます)

#### [CD/WALES]

- \*RAG FOUNDATION:Minka Y  
(Rag Foundation はリード・シンガーの Neil Woollard、シンガーでフィドル奏者の Kate Ronconi-Woollard、ギター奏者の Richard Cowell のトリオ。Neil Woollard のヴォーカルはある種現代の吟遊詩人風で独特な雰囲気。音楽は音楽性が豊かで幽玄なブリティッシュ・ブリティッシュ・フォーク。ゲスト:Julie Murphy, Andy Cutting, Nigel Eaton, Ceri Rhys Matthews。1999 作。Fflach)
- \*MABON:Ok Pewter Z  
(Jamie Smith 率いるケルティック・ロック・バンド“Mabon”の2007年作。トラッド曲は一曲のみで他は Jamie Smith & Mabon のオリジナル曲。アコ、フィドル、ギター、フルート、バウロン、マンドリンにベース&ドラムス加わった彼らの音楽は伝統的なケルト音楽をベースにオリジナルなケルト音楽+αを果敢に創作。ネットで知ったが「2021年10月30日、北ウェールズでのソールドアウト公演を最後に解散」したそう。Mabon)
- \*CALAN:DEG | 10(2018 作。Sain) A

#### [CD/SCOTLAND 系]

- \*JOY DUNLOP:Caoir C  
(ゲール語トラッド・シンガーの Joy Dunlop の2023年作。マウス・ミュージックやリルティングを含む伝統的なゲール語ソングを伝統歌の言葉のリズムを生かしたシンギングとサウンドで魅了する。エレキギターやドラムスも加わったトラッド・サウンドはダンサブルな曲調の曲を活性化していて、オリジナルな先進的フォーク・ロック・サウンドを創作している。スコットランドの女性トラッド・シンギング・アルバムとして画期的なアルバム。Sradag Music。※ネットで知ったが、彼女はBBC ScotlandとBBC ALBAのお天気キャスターだそう)
- \*DAVY STEELE:Chasing Shadows A  
(「現代スコティッシュ・フォークにおける最も優れた歌手」として広く知られていたトラッド・シンガーでSSWのDavy SteeleがBattlefield Bandに加入する前の年の1998年に発表したソロ・アルバム。彼は脳腫瘍で2001年4月に他界。実はその2年か3年前にエディンバラ郊外にあるハーブ奏者のPatsy Seddon{Sileas}さん宅を家族で訪ねたときに「夫よ」と紹介されたのがDavy Steeleさんだった。早弥香がPatsyさんにハーブのレッスンを受けてる間、ロッキングチェアに座ってDavyさんと外を眺めながら世間話を楽しんだ。その時にはそんな悲劇が待ち受けてるとは想像すらしなかった。今改めてDavyさんの唄を聴くと、スコテ

ィッシュ調の穏やかなヴォーカルに哀愁が漂っていて、不思議な気分になった。凄く個人的で内面的なアルバムと言うことが今になって分かった。w. Patsy Seddon, Mary Macmaster, Aaron Jones, Dick Gaughan 他。Hypertension-Music)

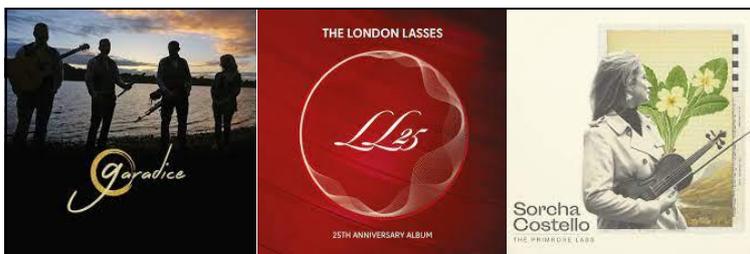
\*ROBIN WILLIAMSON: The Island Of The Strong Door A  
(自身の唄と自身のハーブ、ギター、マンドリン、フィドル、ホイッスル、口琴、パーカッションの伴奏と彼の妻 Bina のバックিং・ヴォーカルという現代の吟遊詩人 Robin Williamson のワンマン・ショー的音楽。彼の神秘的な音楽の魅力がゆるく凝縮。彼の音楽はいつも自由気まま。1995 作。Pig's Whisker Music)

\*SUNHONEY: November Z  
(スコットランドのルイス島出身で現在アイルランド{長年 Chieftain のツアー・シンガー}を拠点に活動するトラッド系シンガーの Alyth McCormack がヴォーカルの当時{発売年 2002 年}最先端のスコティッシュ・トラッド/フォーク・ロック・バンド "Sunhoney" の唯一のアルバム。メンバーは Alyth のほか Aidan O'Rourke, Fergus MacKenzie, Donald Hay, Kevin MacKenzie, Quee MacArthur。今聴いてもぶっ飛ぶ。2002 作。Vertical)

\*FACE THE WEST: The Wishing Stone Z  
(ルイス島の男性四人組スコティッシュ&ケルティック・ロック・バンド "Face The West" の 2008 年作。鬼才 Martin Bennett や Wolfstone の音楽に影響を受けたという彼らの音楽は、スコティッシュのノリ抜群のエネルギッシュなトラッド・ロック。新たなスコティッシュ・ミュージックの創作に挑んだパワフルな一枚。ゲスト: Alasdair White {Battefield Band}。WSFTW002)

### [CD/IRELAND 系]

デジパック・タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。



(Garadice)

(London Lasses)

(Sorcha Costello)

\*GARADICE: Sanctuary C  
(元デダナンの Eleanor Shanley をシンガーに迎えた一姫三太郎のアイリッシュ・グループ "Garadice" の新作で二枚目。新春聴くのに最高の音楽。Dave Sheridan のフルート&アコと John McCartin の各種ギターは様々なアイリッシュ・リズムを緩急自在に奏で上げ、Padraig McGovern の巧みなイリアンパイプスの演奏はアイリッシュの魂の響きを持続させる。全 13 トラックのうち Eleanor Shanley のヴォーカル入りは 6 曲。ダンス曲の合間に唄が入る構成。アイリッシュに回帰した Eleanor Shanley のキリッとしたシンギングは齢を重ねてもなお清々しい。とりわけ妻への感謝のラヴソングという 4 曲目の "Song For Kathryn" は胸キュンの素晴らしさ。正に横綱級アイリッシュ。ゲスト: Donal Lunny, Tom Murrow, Eleanor Quaine {バックিং・ヴォーカル},

Neil Lyons。2023 作。Garadice)

※“Sanctuary”は単なるアルバムではありません。それは時間と境界を越える音楽の永続的な力の証です。Garadice は各音符でアイルランドの音楽伝統の豊かな伝統を受け入れ、そのメロディーの中に慰め、喜びそして繋がりをを見つけるようあなたを誘います。

(Garadice の HP より)

\*THE LONDON LASSES:LL25

D

(ロンドンの Cherish The Ladies と勝手に読んでいる女性アイリッシュ・グループ“London Lassés”の結成 25 周年記念アルバム。録音は 25 周年目の 2022 年 8 月。過去に在籍した仲間も飛び入り参加して制作された本作はアイリッシュ・ミュージックの魅力が生き生きと織り込まれた滅茶苦茶素晴らしいアイリッシュ。やはり 25 年の活動実績は違う！ひと味もふた味も違う各種ダンス曲の多彩な楽しさと音楽性の豊かさそしてハーブ奏者でシンガーの Bróna McVittie の清らかなシンギングと演奏。ぱっと集まってこんな魅力的なアイリッシュをさらりとやってのける彼女達は凄い。全 14 トラック [29 曲]。写真多数&曲目解説など豪華ブックレット。去年の暮れはこればかり聴いていた。2023 作。

Clo Iar Chonnacht)

\*SORCHA COSTELLO:The Primrose Lass

D

(クレア州タラ出身で、2021 年“Gradam Ceoil TG4 Young Musician of the Year”の受賞者フィドラーの Sorcha Costello 嬢のソロ・アルバム。東クレアのスタイルに深く根ざした {Martin Hayes もそう} という彼女のフィドルは女性的な繊細な感性が曲の隅々にまで宿っていて、伝統的スタイルでありながら、新鮮で爽快感のあるフィドル・ミュージックを創作している。ノリのよいリアル曲が多いのもその印象を強めている。そんな中に古いスタイルを織り交ぜて、音楽に旨みを添えている。9 歳からアイルランド最大の音楽コンテスト“Fleada Cheoil”に挑戦して腕を磨いてきたというから、演奏テクニックは折り紙付。John Blake {ギター、ウズキ} と Catherine McHugh {キーボード} が出しゃばらずに優しく共演。超フレッシュなデビュー・アルバムだ。2023 作。

Sorcha Costello)

\*TEADA:Coisceim Coiligh

B

(ゲストに Séamus Begley [4 曲参加] を迎えて制作された Teada の結成 21 周年を祝う 2022 年作。フィドル、ボタン・アコーディオン、フルート、ギター、ブズーキ、バウロン、キーボードによるアイリッシュは音楽が多彩でスローテンポからミディアムテンポそしてアップテンポまで縦横無尽。その職人芸は驚くばかり。さらに生前最後の録音記録と思われる Séamus Begley の柔和なゲーリック・シンギングが涙を誘う。最高のアイリッシュ！Gael Linn)

\*THE LARK ON THE STRAND:The Lark On The Strand

C

(本作は 2000 年一月に Sesoaimhín Ní Bheaglaíoch {Macalla 懐かしい!/ヴォーカル}, Charlie Piggott {De Danann/アコ}, Peter Browne {1691 懐かしい!, Bothy Band [Paddy Keenan の代役] /イリアンパイス}, Gerry Harrington {フィドル} が“The Lark On The Strand”の名でツアーをしたときのライヴ・アルバム。アイリッシュ・ミュージック界のプロフェッショナル三人によるアイリッシュは、あの手この手の名演奏で舌鼓を打たせる。加えて Sesoaimhín の滋味豊かなゲール語のシンギングが絶品。全 34 曲！2022 作。

LOTS001CD)

\*HECTOR ZAZOV:Lights In The Dark C  
(フランスの作曲家でレコード・プロデューサーの Hector Zazov 名義の本作 {1998 年作} はアイルランドの伝統的聖歌集 {半数が生母マリアの歌}。ヴォーカルを担うのは Lasairfhiona {ラーサリーナ}、Breda Mayock, Katie McMahon の三名。終始厳かな古代・中世アイリッシュ/ケルティック・サウンドに包まれて三名の歌姫のゲール語の清んだ歌声が響き渡る。w. Kirsten Noguez {ハフ}, Carlos Nunez {オカリナ、フルート}, Minna Raskinen {カンテレ}, Thierry Robin {ウード}, Noriko Sanagi {琴}, 坂本龍一 {ピアノ} 他。和風な響きも。Detour)

\*LORCAN MacMATHUNA:Rogaire Dubh A  
(シャンノースの蒐集家でシンガーの Lorcan MacMathuna の 2007 年作。発売時、今もダブリンで開催されている Sean-Nós Cois Life のメンバー。今聴いて本作の素晴らしさを堪能。彼は伝統歌「シャンノース」を「語る」より「シンギング」することに重きを置き、新進なアイリッシュ・サウンドを付けることで、アイリッシュ・トラッドとして新たな命を吹き込んでいる。Caoimhín Ó Raghallaigh {フイドル、ホイッスル他}, Mick O'Brien {イリアンパイプス、ホイッスル}, Helen Lyons {ハフ}, Jane Hughes {チェロ}。Conor Lyons {バウロン} による繊細で謙虚な伴奏も見事。トータルに秀逸。「Lorcan MacMathuna は伝統的歌手のニューウェイヴの第一級に位置する声と態度の両方を持っている」とは Journal of Music in Ireland 誌。35 ページのブックレット付。Lorcan MacMathuna

\*JO CHEDGEY:d' Anam Alainn Z  
(アイルランド南部ウォーターフォード州の小さな漁村近くで育ったという女性 SSW の Jo Chedgey の 2009 年作。「魂を揺さぶる心からの唄」を意味するゲール語のタイトル通り、ギターの弾き語りを中心にした {他にバウロンやホイッスルも演奏} 本作は、アイルランドへの美しい想いが素直に唄になっていて、彼女の想いや思い出と一緒に旅する気分。Van Morrison 作 "Moondance" 以外は Jo の自作曲。2009 作。Osmosy)

\*BISCANTORAT "Sound Of The Spirit From Glenstal Abbey" Y  
(「ビスカントラットは 2003 年の秋にアイルランドのリムリック州マローにあるグレンスタール修道院のベネディクト会修道院で録音されました。このユニークな録音で修道士のコミュニティに参加しているのは、Marie-Bernadette O'Connor と Noirin Ni Riain です」{CD の解説より}。男女混声の合唱団アヌーナの音楽と重なる荘厳な美しさ。こちらの方が先輩格だが。全 21 曲。2004 作。Hummingbird)

#### [CD+CD-ROM/IRELAND]

\*AMHRAN IS FICHE DON NOLLAIG A  
(CD と CD-ROM の一枚セット。CD はアルタンの Mairéad Ní Mhaonaigh と Seamus Begley の妹の Méabh Ní Bheaglaoich と Líadan の Síle Denvir の三人の女性シンガーによる 21 曲収録のアイルランドのクリスマス・ソング集。ゲール語地域の異なる三人の歌姫の唄は、全曲ギター伴奏で、それぞれの地域のゲール語。CD-ROM はゲール語の歌詞、英語の歌詞、カラオケでの唄のレッスン等など。2009 作。Fios Feasa)

[CD/USA {Celtic, Trad}]

- \*KYLE CAREY:North Star Z  
(学生時代、伝説のカフェ「カフェ・レナ」で元ウェイトレスを務め、卒業後スコットランドでケルト音楽とゲール語を学んだという女性 SSW の Kyle Carey の 2014 年作。応援ミュージシャンはスコットランド、アイルランドそして米国の三カ国から。それも Chris Stout, Catriona McKay, Pauline Scanlon {5 曲でハーモニー・ヴォーカル}, Dirk Powell, Natalie Haas, Jamie MacKintos, Eamon McEiholm 等々トップクラスのミュージシャンばかり。おまけに Solas の Seamush Egan がプロデュース。三カ国のトラッド・サウンドが旨く溶け合ったサウンドはしっかりとして上品にケルティック風味で、Kyle のたおやかなヴォーカルとナチュラルに溶け合っている。最良のケルト風味女性 SSW アルバム。Americelta/※米国盤ですが、シュリンクラップ包装されてないので、当店でラップ包装します。

[CD/CANADA {Celtic, Trad}]

- \*RITA & MARY RANKIN:Lantern Burn B  
(ケープブレトンの Rita & Mary 姉妹の 1994 年作。ケープブレトンやスコットランドのトラッド曲やトラッド系音楽を英語とゲール語で美しくシンギングする。今聴いても輝きは不変。およそ 30 年前の当店ベストセラー。冬に聴くとあつたまる。全 15 曲。CBC Maritimes)
- \*MARY JANE LAMOND:Orain Ghaidhlig B  
(“Gaelic Songs of Cape Breton”。1995 年、ノバスコシアの聖フランシスコ・ザビエル大学 {ケルト研究プログラム} 在学中に発表した“Bho Thir Nan Craobh”はカナダ東部発伝統的ゲール語ソングのアルバムとしてトラッド・ファンの耳を奪ったが、それから五年後にケープブレトン島でライブ録音された本作は、スコットランドの極上の女性トラッド・シンガーのゲール語ソングを味わうのと同じように彼女の自然体のゲール語ソングは味わい深く、そして心地よい。w. Wendy MacIsaac, Gordie Sampson, Tracy Dares-MacNeil, Marianne Jewell 他。Turtlemusik)
- \*LE REVE DU DIABLE:Delires Et Des Reels B  
(1974 年結成のケベックのトラッド・バンド“Le Rêve du Diable”の 1979 年作の三枚目。今日ケベックのトラッド・バンドの先駆者として語られる彼らだが、彼らの音楽を LP で初めて聴いたとき、今まで聴いたことのないリズム、歌声、サウンドに新鮮な感動を覚えたが、今聴くと、本作にケベック・トラッドの個性が濃縮されていることがわかるし、その後続くバンドの見本にもなっているようにも思える。ケベック・トラッドを語る上で欠かせないバンドだ。ちなみにメンバーの André Marchand は 1976 年に La Bottine Souriante を結成しているから、二股かけて活動していたことになる。Tamanoir)
- \*LA BOTTINE SOURIANTE:Je Voudrais Changer D'Chapeau A  
(1990 作。Rounder)
- \*CELTIC COLOURS INTERNATIONAL FESTIVAL CAPE BRETON ISLAND“The Road Home” A

(編集盤。Mary Jane Lamond, Natalie MacMaster, Ashley MacIsaac, Capercaillie, Sharon Shannon 他。全 16 トラック。1997 作。SMPCD1007)

### [CD/SWEDEN]

- \*SOFIA SANDEN & MARIA JONSSON:Långt Bort I Skogen C  
(Ranarim の Sofia Sanden と Ian Carr の妻でスウェーデン屈指のヴィオラ奏者の Maria Johnsson のデュオ・アルバム。牧草地で片やフィドルを弾き片や長い木製縦笛を吹く二人の女性のジャケットを開くと、牧草地で働く夫人達のセピア色した写真。二人はヴィオラを含めた各種擦弦楽器に加えて、牧草地帯発祥の伝統的な縦笛のスピラピマや口琴、ギター、ピアノ等を演奏し、ソロ・シンギングとデュエットで北欧の牧草地の、ある種メルヘンティックな民謡の世界へと誘う。カウニングと呼ばれる家畜を呼び寄せるためのシンギングを含め Sofia のシンギングは絶品。ゲスト:Ian Carr。2018 作。Dalakollektivet)
- \*LJUS OCH LYKTA:Ljus Och lykta B  
(三姫一太郎の四人組トラッド・バンド“Ljus Och lykta”の爽快デビュー・アルバム。曲目のほとんどはスウェーデン舞台芸術庁のアーカイブ。コレクションで見つけ出したトラッド曲だそうだが、彼らは若々しく自由闊達なソロ・シンギング&ハーモニーで数々の伝統歌を生き返らす。伴奏楽器はフィドルとギター。スウェーデンのトラッドの香り立つフィドルが良い感じで北欧トラッド色を高めている。2022 年。Caprice)
- \*NÅRA:OM Y  
(ゴットランド島出身の女性トラッド・シンガー Gunnel Mauritzson がヴォーカルの一姫二太郎のスウェーデンのトラッド・グループ“Nåra”の 2006 年作の二枚目。Gunnell のシンギングもそしてフィドルの Björn Ståbi とアコーディオンの Bengan Janson の演奏も円やかで穏やか。ほのかに薫るスウェーデンのトラッドの香り。全 17 曲。「人生と愛の唄とメロディーの時代を超えた織り物」{CD より}。Caprice)
- \*GUNNEL MAURITZSON:Raisu Aut Y  
(Gunnfjauns Kapell や Nåra のヴォーカルでトラッド・シンガーの Gunnel Mauritzson の 2003 年作。w. Roger Tallroth, Richard Astrom, Hans Kennemark。ホッチキスにサビが見られます。Xource)

### [CD/DENMARK]

- \*BONEZONE:In Session Y  
(BoneZone はアイリッシュやスコティッシュ好きのデンマーク人 4 人とスコットランド人シンガーでボーンズ奏者の Yirdy Machar の五人組。アイルランドのパブでのライブ・セッションのようなエネルギッシュでひねりのある音楽が楽しい。セッションの楽しさビンビン。ボーンズの演奏は名人芸。2007 作。Go')

### [CD/ESTONIA]

- \*SILD:Tro A  
(Sild はエストニアの女性シンガーでフィドル奏者の Silje Ilves とウェールズのギター、 Hammondオルガン奏者の Martin Leaman のデュオ。Silje の極北的で神秘的なシンギング{トラッド・シンガーとしてトップ・クラス}は絶品な上に、二人が奏でるアコー

スティック・トラッド・サウンドは厳かな深みがある。エストニアのトラッドとウェールズのトラッドとが彼ら流にナチュラルにブレンドされていて、トラッド・アルバムとして秀逸。いやむしる今だからこそ本作の秀逸さがわかる。Produced by Geri Rhys Matthews。2008 作。Fflach)

- \*KART JOHANSON: Seitse Une Nagu Y  
(ストーリーテラーで女優の Kart Johanson が 2000 年以上の歴史を持つと言われているルーン・ソングをうたったもの。Kart のシンギングはハミングのようだったり、意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004 作。Arm Music)

### [CD/BELGIUM, FLANDERS]

- \*FARAN FLAD: Maiden Voyage Y  
(Kadrial の“The Other Shore”でヴォーカルを担当した英国人女性シンガーの Heather Grabham がリード・ヴォーカルの英国人、フランダース人混成のアイリッシュ系トラッド・バンド。70 年代ブリティッシュ・フォーク・シンガー・タイプの Heather の美味ヴォーカルをフィーチャーしたアイリッシュはアイリッシュ風ブリティッシュ・フォークでほんわかと魅力的。唄もサウンドもフレッシュで美味。2010 作。Wild Boar Music)

### [CD/ITALY]



(Hiram Salsano)

- \*HIRAM SALSANO: Bucolica G  
(南イタリアの伝統音楽、特に故郷のカンパニア州チレントの山岳地帯の伝統音楽に焦点を当てたという若き Hiram Salsano 嬢の衝撃のデビュー・アルバム。音楽的には NCCP のようなナポリのトラッドと重なる。Hiram 嬢のヴォーカルは滅茶苦茶素晴らしい。民謡の民俗性濃く、ヴォーカル・コントロールを利かせて自由奔放にシンギングする。楽器演奏は Hiram{タンバリンとカスタネット}と伴奏者的役割の Catello Gargiulo{アコ、口琴、木製縦笛、片面太鼓}の二人が担っていて、数曲でウードやサンポーニャ等の民族楽器が補助的に入る。サウンドは民俗性を保持しながらも独創的で、奔放な Hiram のシンギングと調和して、超フレッシュなイタリアン・トラッドを大らかに創出している。歌詞が方言なので、標準イタリア語訳が付いている 2023 作。Hiram Salsano)
- \*N. C. C. P. : Teatrante Y  
(主に 1992 年以降の音源から編纂されたベスト・アルバム。全 11 曲。情熱的でアラブ色濃い男女のヴォーカル及びコーラスそして地中海音楽濃厚な N. C. C. P. ならではの熱いイタリア南部のトラッドが堪能できる。2001 作。CGD East West)

☆ ☆ ☆  
**その他色々**  
 ☆ ☆ ☆

**[CD]** 在庫各1枚か2枚。※検品してお送りします。

**(CD/Guitar)**

- \*GORDON GILTRAP:Gordon Giltrap/Portrait A  
 (“Gordon Giltrap”{1968年}と“Portrait”{1969年}の2in1。  
 1997作。Castle)
- \*ULLI BOGERSHAUSEN:Vinyl 81-86 Y  
 (全20曲。2007作。Laika)
- \*PAVLO:Fantasia(1999年/2004作。Justin Time) X

**(CD/USA)**

- \*FRED NEIL:Bleeker & Macdougall B  
 (国内盤。解説:鈴木カツ。歌詞・対訳付。1966年/2006作。  
 イーストウエスト・ジャパン)
- \*ERIC ANDERSEN:Ghost Upon The Road B  
 (国内盤。解説:天辰保文。歌詞日本語訳付。1988作。ポニーキャニ  
 オン盤)
- \*ERIC ANDERSEN:Ghost Upon The Road B  
 (1988作。カナダ Alart Musik 盤)
- \*JACK HARDY:Civil Wars(1994作。Brambus) B
- \*JACK HARDY:Noir(2007作。Great Divide) B
- \*ROGER McGUINN & BAND:Roger McGuinn & Band B  
 (2004作。Sundazed)
- \*LAST TRAIN HOME:Last Good Kiss(2007作。CoraZong) B
- \*GEORGE ENSLE:Build A Bridge(2007作。Berkalin) A
- \*BUTCH HANCOCK:War And Peace(2006作。Two Roads) A
- \*JEFF TALMADGE:The Spinning Of The World A  
 (2000作。Bozart)
- \*GARY P. NUNN:It's Texas Thing(2000作。Campfire) Z
- \*CHUCK BRODSKY:Last Of The Old Time(2000作。Red House) Z
- \*BILLY JOE SHAVER:Electric Shaver(1999作。New West) Z
- \*PIETA BROWN:Mercury(2011作。Red House) Z
- \*CARTER BROTHERS:The Road To Roosky(2011作。Compass) Z
- \*LOUISE TAYLOR:Ruby Shoes(1996作。Signature) Z
- \*RICHARD FERREIRA:Somewhereville(2002作。Miranda) Z
- \*JOHN McCUTCHEON:Barefoot Boy With Boots On Z  
 (1980年/1998作。Rounder)
- \*JIM GROCE:Bad,Bad Leroy Brown & Other Favorites Y  
 (ベスト盤。全10曲。1994作。EMI Music Canada)
- \*LUI COLLINS:Moondancer(1993作。Molly Gamblin Music) Y
- \*DANNY SCHMIDT:Little Grey Sheep(2008作。Waterbug) Y
- \*JANET KLEIN AND HER PARLOR BOYS  
 :Ready For You(2008作。Coeur De Jeannette) Y
- \*KENNY ROBY:Mercury's Blues(2000作。RiceBox) Y
- \*PROFESSOR LOUIE AND THE CROWMATIX:Wings On Fire Y  
 (2013作。Woodstock)
- \*PAM GADD:The Long Road(1997作。Vanguard) Y

- \*CARBOR LEAF:Indian Summer (2004 作。Vanguard) X
- \*ANDREW CALHOURN:Phoenix Envy(1996 作。Waterug) X
- \*GREG DOUGLAS:Maelstrom X  
(with Peter Rowan, Norton Buffalo.1993 作。Taxim)
- \*WILL CALLERY:Rider Comin' In(2008 作。Will Gallery) X
- \*KENNY MEEKS:Tell My Angel (2000 作。Big East Music) X
- \*RED DIRT RANGERS:Rangers' Command X  
(Produced by Lloyd Maines.1999 作。Lazy S. O. B.)

**(サンプル、サンプラー CD/USA)**

- \*THE OLD JOE CLARKS:Town Of Ten B  
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。稀少名盤。1997 作。Checkered Past)
- \*THE OLD JOE CLARKS:Metal Shed Blues B  
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。稀少名盤。1999 作。Checkered Past)
- \*AMERICAN IMPRESSIONIST SONGWRITERS Y  
(Waterbug 発売アルバム音源からのサンプラー。全 18 曲。全歌詞及びシンガー紹介付。1993 作。Waterbug)
- \*BOBBY OSBORNE:Original Y  
(バーコードがマジックで消されたほぼ新品のサンプル盤。2017 作。Compass)
- \*THE FLOATINGMEN:Lemon Pie Y  
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2000 作。Shade)

**(CD/USA {Trad, Celtic})**

- \*SARAH BAUHAN:Broad Waters A  
(ティンホイッスル・アルバムの傑作。1999 作。Whistler's Music)
- \*LYNDA DAWSON & PATTI HOPKINS:Traditional Duets Z  
(2014 作。Lynda & Pattie)
- \*BOILED IN LEAD:From The Ladle To The Grave Z  
(1989 作。Cooking Vinyl)
- \*JODY MARSHALL:Cottage In The Glen Y  
(ゲスト:Grace Griffith, Al Petteway.2005 作。Maggie's Music)
- \*GOLDEN BOUGH:Beyond The Shadows Y  
(ブックレットを綴じる少しホッチキスがサビでいます。1989 作。ARC Music)
- \*LEHTO & WRIGHT:The Thrashing Machine And Other X  
Stories (2004 作。New Folk)
- \*FIREWEED:Not Forgotten "Celtic Treasures Old And New" X  
(2004 作。K2 Recording)

**(CD/Canada)**

- \*RAY BONNEVILLE:Rough Luck(1999 作。Stonefly) A
- \*FRED EAGLESMITH:Indiana Road A  
(w. Willie P. Bennett, David Essig 他。1987 作。Sweetwater Music)
- \*FRED EAGLESMITH:Dusty A  
(Produced by Scott Merritt.2004 作。A Major Label)
- \*COLIN LINDEN:Raised By Wolves(1997 作。Sony) A

- \*BOB BOSSIN:The Roses On Annie's Table(2005 作。Nick) Y
- \*ANDREA FLORIAN:Picture This(2003 作。Bathsheba) Y
- \*JIM BYRNES:St. Louis Times(2014 作。Black Hen Music) Y
- \*FERGUS HAMBLETON:Snap(発売年不明。Super Mono) X
- \*KIM BARLOW:Champs(2007 作。Jerico Beach Music) X
- \*GORDIE TENTREES:Mercy Or Sin(2009 作。Yukon) X
- \*SONNY RHODES:Blue Diamond(1999 作。Stony Plain) X
- \*DAVID WILCOX:Rhythm Of Love X  
(Produced by Colin Linden。2000 作。Stony Plain)
- \*BARRY GREENFIELD:King Of The Wolves Z  
(2001 作。Sudden Death)

**(サンプル CD/Canada)**

- \*TIM READMAN:Into The Red X  
(トレイに配給業者のシールが貼られたほぼ新品のサンプル盤。  
2001 作。Big City Prod.)

**(CD/Canada{Trad, Celtic})**

- \*TI-JEAN CARIGNAN:Archives D  
(CD3 枚組。Ti-Jean Carignan はケベックの伝統音楽の歴史と進  
化に大きな影響を与えたフィドル奏者。1998 作。Disques Tout  
Crin)
- \*STAN ROGERS:Poetic Justice(1996 作。Fogarty's Cove) B
- \*STAN ROGERS:A Matter Of Heart(2000 作。Fogarty's Cove) B
- \*LOREENA McKENNITT:To Drive The Cold Winter Away A  
(1987 年/1994 作。Quinlan Road)
- \*WENDY MacISAAC:Off The Floor(2014 作。Wendy MacIsaac) A
- \*FIRE IN THE KITCHEN A  
(Produced by Paddy Moloney。1998 作。Unisphere)
- \*LE VENT DU NORD:Les Amants Du Saint-Laurent Z  
(2005 作。Borealis)
- \*LE VENT DU NORD:Tetu(2015 作。Borealis) Z
- \*RAWLINS CROSS:Living River(1996 作。Ground Swell) Z
- \*ANITA BEST:Crosshanded(1997 作。Amber Music) Y
- \*JAMIE MacINNIS-PAUL MacNEIL:Fosgail An Dorus X  
(“Bagpipe Music From Cape Breton”。1996 作。Iona)
- \*IAN McKINNON AND GAYLE h. MARTIN:Air Races X  
(2000 作。Ground Swell)

**(CD/UK)**

- \*JIM CAPALDI:Let The Thunder Sky C  
(1981 年/2000 作。Receiver)
- \*JOHN RENBOURN GROUP:The Enchanted Garden B  
(1980 年/2005 作。Sanctuary/Castle)
- \*JOHN RENBOURN:The Definitive Transatlantic Collection A  
(全 18 曲。1997 作。Castle Communications)
- \*MATTHEWS SOUTHERN COMFORT:Later That Same Year A  
(1970 年/1993 作。Line)
- \*IAIN MATTHEWS:The Seattle Years 1978-1984 A  
(1996 作。Varese Sarabande)

- \*DONOVAN:Greatest Hits Live A  
("Vancouver 1986".2001 作。Varese Sarabande)
- \*THUNDERCLAP NEWMAN:Hollywood Dream Z  
(1970 年/1991 作。Polydor)
- \*BERT JANSCH:From The Outside(1993 作。Hypertension) Z
- \*BERT JANSCH:Downunder Z  
(副題"Live In Australia".2001 作。Sanctuary/Castle)

**(CD/England)**

- \*ASHLEY HUTCHINGS:Kickin' Up The Sawdust C  
(1972 年/1994 作。BGO)
- \*GRACE NOTES:Red Wine & Promises(1998 作。Fellside) B
- \*JEZ LOWE & THE BAD PENNIES:Briefly On The Street B  
(1990 作。Fellside)
- \*JEZ LOWE:Tenderhooks(1995 作。Green Linnet) B
- \*JACK THE LAD:The Old Straight Track B  
(1974 年/2005 作。Virgin)
- \*JOHNSTONES:Give A Dawn/Bitter Green A  
("Give A Damn"{1969 年}と"Bitter Green"{1969 年}の 2in1。  
1997 作。Castle)
- \*MARTIN CARTHY:Right Of Passage(1988 作。Topic) A
- \*BOB FOX:Dreams Never Leave You(2000 作。Woodworm) A
- \*BRAM TAYLOR:Song Singer(2007 作。Fellside)
- \*ALONG THE COALY TYNE "Old And New Northumbrian Songs Z  
(Louis Killen, Johnny Handle 他。1962 年、1976 年/1998 作。Topic)
- \*GREG RUSSELL:Inclined To Be Red(2017 作。Fellside) Z
- \*CRUCIBLE:Love & Money(2008 作。Fellside) Z
- \*JULIE FELIX:Rock Me Goddess(2018 作。Talking Elephant) Z
- \*TICKLED PINK:Terpsichore Polyhymnia Z  
(2005 作。Talking Elephant)
- \*TIM VAN EYKEN:Stiffs Lovers Holy men Thieves Z  
(w. Nancy Kerr, Oliver Knight。200 作。Topic)
- \*DIRTY LINEN:A Romany Tale Z  
(四人組英国フォーク・ロック・バンドの 2002 年作)
- \*THE WORKING PARTY:Live At The Mill Z  
(Chris Leslie, Maartin Allcock, Simon Mayor, Chris Perkinson,  
Troy Donockley によるライヴ。2006 作。The Working Party)
- \*GILLIE NICHOLLS:Spirit Talk Z  
(w. Kevin Dempsey, Chris Leslie 他。1993 作。Making Waves)
- \*ANDREW CRONSHAW:Ochre(2004 作。Cloud Valley Music) Z
- \*THE OLD HAT DANCE BAND:Mellophone Y  
(1992 作。Old Hat Music)
- \*JOE STEAD:Hearts On Fire(1993 作。Private Label) X
- \*IAN KING:Panic Grass & Fever Few(2009 作。Fledge'ling) X

**(CD/Scotland)**

- \*DICK GAUGHAN:Coppers & Brass C  
(1977 年/1992 作。Green Linnet)
- \*CAPERCAILLIE:Delirium C  
(国内盤。解説:山岸伸一。対訳付。1992 作。BMG/Survival)

- \*KARINE POLWART:Fairest Floo'er(2007 作。Hegri Music) A  
 \*JSD BAND:Pasture Of Plenty(1998 作。KRL) A  
 \*FLORA MacNEIL:Orain Floraidh – The Songs Of  
 Flora MacNeil (with Maggie MacInnes。2000 作。Temple) A  
 \*FIONA DAVIDSON:The Language Of Birds A  
 (1998 作。Watercolour Music)  
 \*CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD:The Cauld Wind Z  
 (“Music Of The Pipes And Fiddle”。2013 作。Chris Stout Music)  
 \*CAPERCAILLIE:Capercaillie Z  
 (“Secret People”{1993 年}収録の新ヴァージョン5曲と新曲5  
 曲収録の計10曲。1994 作。Survival)  
 \*WILLIAM JACKSON:Geltic Experience Vol.1 Z  
 (“Haunting Themes From Scotland & Ireland”。1997 作。Linn)  
 \*THE NINETIES COLLECTION  
 “New Scottish Tunes In Traditional Style” Z  
 (Aly ain, Phil Cunningham, Mary Ann Kennedy, Jack Evans, Simon  
 Toumire 他。新録曲全16トラック。1995 作。Greentrax)  
 \*PEATBOG FAERIES:What Men Deserve To Lose Z  
 (2007 作。Peatbog)  
 \*ROSS AINSLE & JARLATH HENDERSON:Partners In Crime Z  
 (2008 作。Vertical)  
 \*CHANTAN:Primary Colours(1997 作。Culburnie) Y  
 \*SHOORMAL:Migrant(2003 作。Greentrax) Y  
 \*WHIRLIGIG:Celtic Dawn(1995 作。Klub) Y  
 \*DALEWOOL AUCKLAND & DISTRICT PIPE BAND:Southern Gael X  
 (1998 作。KRL)  
 \*ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND:They Took Their Leave... X  
 (2001 作。KRL)  
 \*STEVE MIDDLETON:Cathedrals & Castles(1999 作。REL) X  
 \*FINLAY MacNEILL:Fonn Is Furan(2000 作。Temple) X  
 \*DANNY KYLE:Heroes And Soft Targets(1998 作。Iona) X  
 \*HARPS, PIPES & FIDDLES(全20トラック。2000 作。Temple) X  
 \*PETER NARDINI:Is There Anybody Out There? X  
 (2000 作。Temple)

**(サンプル CD/Scotland)**

- \*MARTYN BENNETT:Bothy Culture Y  
 (バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1997 作。  
 Rykodisc)  
 \*TANNAHILL WEAVERS:Orach Y  
 (バーコードがマジックで消されたほぼ新品のサンプル盤。2018 作。  
 Compass)

**(CD/Ireland 他)**

- \*DE DANANN:The Mist Covered Mountain(1980 作。Gael-linn) C  
 \*MATT MOLLOY·PAUL BRADY·TOMMY PEOPLES:  
 :Matt Molloy·Paul Brady·Tommy Peoples C  
 (1978 作。Mulligan)  
 \*MATT MOLLOY·SEAN KEANE·LIAM O'FLYNN:The Fire Aflame C  
 (1992 作。Claddagh)

- \*DORDAN:The Night Before... A Celtic Christmas B  
(Mary Bergin, Kathleen Loughnane, Dearbhail Standun, Martina Goggin の四姉から成るスーパー・グループの1998年作。Narada)
- \*KEVIN CONNEFF:The Week Before Easter B  
(1988作。Claddagh)
- \*JOHNNY DUHAN:The Voyage(2005作。BLCD 06) A
- \*FRANKIE GAVIN・PAUL BROCK:A Tribute To Joe Cooley A  
(1986作。Gael-linn)
- \*FRANKIE GAVIN WITH THE CARL HESSION ORCHESTRA  
:Shamrocks & Holly A  
(CD-R。ジャケットは表と裏のみプリント。内側白紙。音質確認済。2013作。Tara)
- \*EIST ARIS [Songs In Their Native Language...] A  
(Altan, Mary Black, Dolores Keane, Seamus Begley 他。2000作。Dara)
- \*COLETTE O' LEARY, JEMIE SMITH, BRIAN KELLY  
:The Long Notes(2008作。The long notes) Z
- \*ELEANOR SHANLEY & IVAN LEPARR:Another Day's Journey Z  
(2004作。Hummingbird)
- \*RONNIE BREW & ELEANOR SHANLEY:El Amor De Mi Vida Z  
(2006作。Daisy)
- \*BRIAN O' CONNOR:Come West Along The Road Z  
(2011作。Magnetic Music)
- \*JOE BURKE, BRIAN CONWAY AND FELIX DOLAN  
:A Tribute To Andy McGann(2007作。Clo Iar-Chonnachta)Z
- \*MICK MULCAHY:Agus Cirde(1990作。Gael-linn) Z
- \*MARY COOGAN AND FRIENDS:Christmas(2001作。Mary Coogan) Z
- \*DON POSSUMATO:Pulling Out The Stops Z  
(ゲスト:Kevin Burke。2010作。Old Box)
- \*DANNY O' DONNELL:On tSean - Am Anall Z  
(推薦文:Mairead Ni Mhaonaigh{ゲール語}。ドニゴール・フィドル。1977年録音。2000作。RTE)
- \*NAN TOM TAIMIN:The Home I Left Behind Y  
(2007年。NTT-CD-002)
- \*ROISIN O:The Secret Life Of Blue(2012作。3u) Y
- \*NANCY CONESCA & GERRY HARRINGTON:The Fiddle The Voice Y  
(2003作。Connoisseur)
- \*JOSEPHINE MARSH:Josephine Marsh Y  
(1995作。Josephine Marsh)
- \*JOHNNY McCarthy:Solo Run Y  
(“Traditional Music From The Capital Of Clare”。with Alph Duggan。2002作。Johnny McCarthy)
- \*BLACK ROSE:White Rabbit(2010作。Roisin Dubh) X

#### (サンプル CD/Ireland)

- \*DEREK BELL:A Celtic Evening With Derek Bell A  
(ゲスト:Mairead Sullivan。バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1997作。Shake Not Stirred)
- \*MICK MOLONEY:If It Was'nt For The Irish And The Jews Y  
(バーコードがマジックで消されたほぼ新品のサンプル盤。2009作。Compass)

\*BARLEYSHAKES:Gach Ean X  
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1998 作。  
Shake Not Stirred)

**(CD/Irish Dance)**

\*MATT CUNNINGHAM:Dance Music Of Ireland Volume 14 X  
(2004 作。Ainm)  
\*MATT CUNNINGHAM:Dance Music Of Ireland Volume 16 X  
("Two-hand Dances"。2004 作。Ainm)  
\*THE SET "Music For Four Complete Sets":Three X  
(2002 作。Ossian)  
\*THE SET "Music For Four Complete Sets":Four X  
(2002 作。Ossian)

**(CD/Sweden)**

\*KALABRA:Kalabra A  
(Ulrika Boden がヴォーカルの六人組トラッド・グループの 1997  
年作。Caprice)  
\*MALOU BERG:Hoya (2003 作。Malou Berg) X

**(CD/Finland)**

\*SINIKKA & MATTI KONTIO:The Soul Of Kantele A  
(1999 作。Ondine)

**(CD/Denmark)**

\*KIRSTINE SAND:Det Dansende Par (2007 作。Go') Y

**(サンプラー CD/Lithuania)**

\*DANGUS 2018 || 2020 Y  
(Dangus Records の二枚組豪華サンプラー。全 30 曲。2019 作。Dangus)  
\*DANGUS 2021 || 2023 Y  
(Dangus Records の二枚組豪華サンプラー。全 28 曲。2022 作。Dangus)

**(CD/Germany)**

\*NADIA BIRKENSTOCK:Winter Tales A  
(ケルティック・ハーブ。2006 作。Laika)

**(CD/Bretagne)**

\*RED CARDELL:Naitre (2006 作。Keltia Musique) Z

**(CD/Portugal)**

\*AMERIA MUGE:A Monte (2002 作。Tropical Music) Y

**(CD/Spain)**

\*HABAS VERDES:En El Jardin De La Yerba Buena X  
(1996 作。Several)  
\*PACO DIEZ:Mas Que Un Ofico (1997 作。Several) X  
\*JUAN CARLOS GOMEZ:Mozaeabe X  
(フラメンコ・ギター。1997 作。Several)  
\*LEE WOLFE & THE BLUES RANGERS:The Fireman X

(1998 作。Several)

**(CD/Basque)**

\*OSKORRI:Hi Ere Dantzari(1991 作。Elkar) A

**(CD/Galicia)**

\*NA LUA:Peliqueiro(1994 作。Sons Galiza) C

\*SUSANA SEIVANE:Mares De Tempo C  
(ボーナス DVD {PAL} 付。1994 作。Boa Music)

**(CD/Italy)**

\*7 KM DA GERUSALEMME X  
(イタリア映画「エルサレムから 7 キロ」の映画音楽。2007 作。CNI)

**(CD/Czech Republic)**

\*KALI GERCHEN:Kaj Te Zav - Kam Ist(2008 作。Pavian) Z

**(CD/Bulgaria)**

\*THE BULGARIAN VOICES "ANGELITE"  
:Balkan Passions(2002 作。Jaro) Z

**(CD/Hungary)**

\*TRANSYLVANIANS:Fel Es Egesz(2007 作。Westpark) Y

**(CD/Gypsy, Klezmer, Hungary)**

\*MAZZELTOV・ROLINHA KROSS:Amsterdam(2006 作。Frea) Y

\*NELLO MIRANDO・KALMAN URSZUI & THE ENEGYPSIES  
:Te Djiewiss(2002 作。Frea) X

\*STRICAT:Jab(2009 作。Karnatic Lab) X

**(サンプル CD/Turkey)**

\*黒海吟遊～トルコ音・紀行 A  
(バーコードに見本盤のシールが貼られた新品のサンプル盤。  
監修:小柴はるみ。エッセイ:那谷敏郎。録音:1980 年キングレコード第 2 スタジオ。キングレコード)

**(CD/Algeria)**

\*CHERIF KHEDDAM:Les Maitres De La Chanson Kabyle C  
(1992 作。Club Du Disque Arabe)

**(CD/Chile)**

\*SILVIA BALDUCCI:Homenaje A Una Sonrisa Y  
(Silvia Balducci のビクトル・ハラ曲集。2003 作。CNI)

**(CD/沖縄)**

\*SHOUKICHI KINA AND CHAMPLOOSE:The Music From Okinawa B  
(喜納昌吉の一枚目「喜納昌吉&チャンプルーズ」{1977 年}の英国盤。解説:細川周平。1991 作。GlobeStyle)

**(CD/その他)**

\*LIVE AT THE CEDAR - Visionaries Z  
(Baaba Maal, Mari Boine, Gillian Welch, Doc Watson, Liam  
O'Flynn, Arty McGlynn, Doc Watson, Greg Brown and more.  
2006 作。Cedar Culture Center)

**[LP]** 在庫各 1 枚。多少経年劣化気味。欧州盤は封なし。  
※検品してお送りします。

**(LP/USA)**

\*TEXAS-MEXICAN BORDER MUSIC VOL. 17  
"The First Women Duets 1930-1955" (Arhoolie) A  
\*CHUCK SUCHY: Much To Share A  
(“Songs Of A Farmer”。1986 作。Flying Fish)  
\*MIKE GROSS: Child Prodigy (1978 作。Ghe) A  
\*TOM INTONDI: House Of Water A  
(with Frank Christian, Mark Dunn 他。1983 作。City Dancer)  
\*GEORGE ROESSLER: Still Life And Old Dreams A  
(Produced by Guthrie Thomas & George Roessler。ギター奏者  
George Roessler の 1985 年作。Eagle)  
\*PARIS RECORDS PRESENTS MADE UP IN TEXAS (1986 作。Paris) Z

**(サンプル LP/USA)**

\*RONNIE BARRON: Blue Delicacies Vol. 1 ¥3000 (税込み ¥3300 円)  
(国内盤。表ジャケットに SAMPLE のシールが貼られた新品同様の  
見本盤。解説: 長門芳郎。帯付き。1981 作。Vivid Sound)  
\*NEW GRASS RIVALRY: Commonwealth (1981 作。Flying Fish) A  
\*TOGETHER A  
(1970 年代に Warner からリリースされた音源からのサンプル盤。  
Doobie Brothers, Jackie Lomax, Mother Earth, Faces, John  
Baldry, Crazy Horse, Alice Cooper 他。全 11 曲。ジャケット経年  
劣化。Warner Bros.)

**(LP/CANADA {Celtic, Trad})**

\*GRIT LASKIN: Unmasked B  
(ミニ解説: Stan Rogers。1979 作。Fogarty's Cove)  
\*THE WONDERFUL GRAND BAND: Living In A Fog A  
(1981 作。Grand East)  
\*LA BOTTINE SOURIANTE III: Chic & Swell A  
(1988 作。Green Linnet)

**(LP/SCOTLAND)**

\*ALEX CAMPBELL: Live In Belgium B  
(with Derroll Adams。1981 作。CCC)  
\*ED MILLER: Border Background A  
(“Songs Of Scotland, Old And New”。1989 作。Folk-Legacy)

**(中古 LP/IRELAND)**

\*JOE AND ANTOINETTE McKENNA: Traditional Music Of  
Ireland - Irish Pipes And Harp A  
(盤はほぼ新品。ジャケットは経年劣化。1978 作。Shanachie)  
\*PACKIE BYRNE & BONNIE SHALJEAN: Round Tower A

(盤はほぼ新品。ジャケットは経年劣化。1981 作。Dingle's)

**(LP/WALES)**

- \*ABERJABER: Dau (1988 作。Sain) B
- \*PERERIN: Tirion Dir (1983 作。Recordiau Gwerin) B

**(LP/FRANCE)**

- \*MONT-JOIA: Cancons Dei Festas Provençalas D  
(1978 作。Le Chant Du Monde)

**(LP/PORTUGAL)**

- \*PORTUGUESE STRING MUSIC 1908—1931 (1989 作。Heritage) D

**(LP/BASQUE)**

- \*AMURIZA: Herriko Plazan (1983 作。IZ) B
- \*ESNAOLA ETA URRUZOLA: Sustraietan (198 作。Elkar) B

**(LP/ITALY)**

- \*LA CIAPA RUSA: Ten Da Chent L' Archet Che La Sunada  
L' e Longa (1982 作。Madau Dischi)

**(LP/HUNGARY)**

- \*META GROUP: Szabad Madar B  
(“Hungarian Folk Music”。1990 作。Hungaroton)
- \*KECSKES ENSEMBLE: Gaucelm Faidit Songs ~ Troubadour Music  
From The 12th—13th Centuries (1986 作。Hungaroton) B

**(中古 LP/ARGENTINE)**

- \*MERCEDES SOSA: Vengo A Ofrecer Mi Corazon A  
(カット盤。盤はほぼ新品。ジャケットはやや経年劣化。1987 作。  
PolyGram)

**(LP/MONGOLIA)**

- \*INSTRUMENTAL MUSIC FROM MONGOLIA VOL. 2 A  
(Recordings by Jean Jenkins. 1974 年 4 月と 5 月のフィールドレ  
コーディング。1977 作。Tangent)

**(中古 LP/INDONESIA)**

- \*HETTY KOES ENDANG: Dayung Sampan A  
(ヘティ・クース・エンダンのクロンチョン・アルバム。歌詞・対訳・  
解説付き。新品同様。1987 作。ボンバ・レコード)

**(LP/JAPAN)**

- \*TAKEO YAMASHIRO: Shakuhachi Z  
(カナダ在住の尺八奏者山城猛夫の 1988 年作。Aural Tradition)

**(あとがき)**

\*能登半島地震の影響もあるのでしょうか、年が明けてからまたじりじり円安が進んでいます。今年は円高に向かうものと期待していたのですが…。イアン・タンブリンに支払いを待つて

もらってる間にさらに円安。ドキッ。

\*イアン・タンブリンといえば、イアン・タンブリンやウィリーPベネットやスタン・ロジャースなどのレコードをカナダの会社に頼んだのが当店の音盤の通販を始めるきっかけでした。値段を見て「安い！」。同封されていたリストは聴きたいの色々。ここから人生設計になかった予定外の楽しい音楽人生がスタート。あれから40数年。まさか高齢になってもまだ仕事が続けられていようとは！（\*^o^\*）

\*今年は通販リストを三回は発行できるかなと思っています。出来たら旅行もと思っています。

\*では今年最初のご注文をお待ちしています。（船津）



看板猫まり。

家族だったサリーが一昨年亡くなってから家の中がシラーっとしていましたが、昨年四月からまり（最初マリーと名付けましたが、いつも毬のように丸まって寝てるのでまりと呼ぶようになりました）が家族になって、家が明るくなりました。生山アイリッシュハーブ教室の生徒さん達にも「カワイイ！」と人気です。